

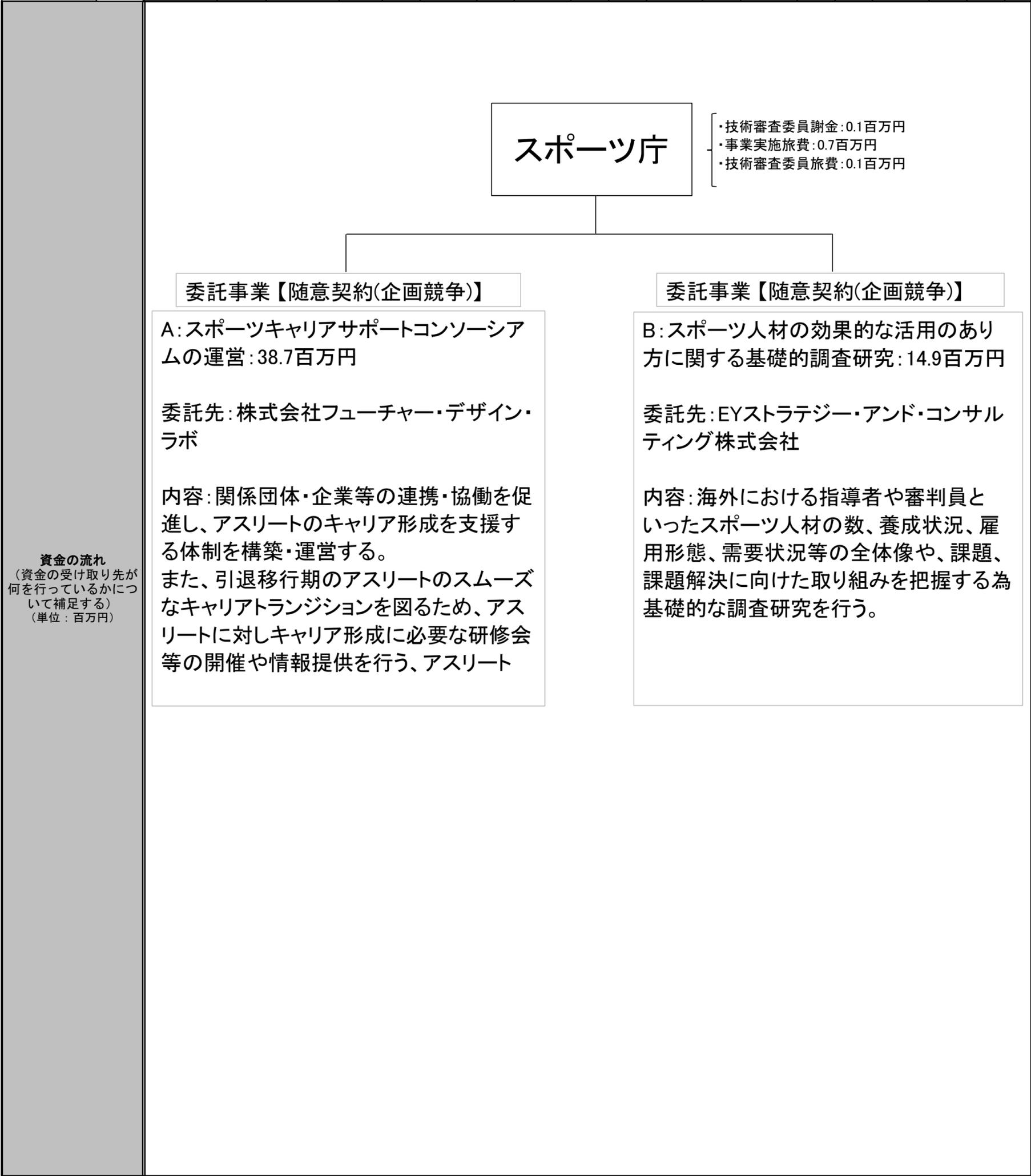
令和5年度行政事業レビューシート		( 文部科学省 )					
事業名	スポーツキャリアサポート支援事業		担当部局庁	スポーツ庁		作成責任者	
事業開始年度	平成27年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	参事官(民間スポーツ担当)付	参事官(民間スポーツ担当) 桃井 謙祐	
会計区分	一般会計						
根拠法令(具体的な条項も記載)	スポーツ基本法 第25条2項		関係する計画、通知等	スポーツ立国戦略(平成22年8月26日策定) 第2期スポーツ基本計画(平成29年3月24日策定) 第3期スポーツ基本計画(令和4年3月25日策定)			
政策	11 スポーツの振興		主要経費	教育振興助成費			
施策	11-1 スポーツを「する」「みる」「ささげる」スポーツ参画人口の拡大と、そのための人材育成・場の充実						
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20211220-mxt_kanseisk02-000019646_11-1.pdf						
事業の目的(5行程度以内)	アスリートが競技外のキャリアにおいてスポーツで培った能力を発揮し活躍することは、アスリート自身の人生の充実という点のみならず、アスリートが有する価値を社会に還元するという点においても重要である。また、アスリートの競技外での活躍は、スポーツの価値を高め、スポーツ参画人口の拡大、ひいては競技力の向上にも寄与する。このような認識の下、関係団体、関係企業等が一体となってアスリートのキャリア形成を支援する体制を整備し、その適切な運営を確保するとともに、アスリートのキャリア形成を実際に支援する人材を育成する。						
現状・課題(5行程度以内)	スポーツキャリアサポートコンソーシアムは設立時の13団体から順調に増加し、2023年3月末時点で83団体が加盟している。その一方、中央競技団体(NF)の加盟は6団体と厳しい状況でNFの加盟数増が急務。また、スポーツキャリアサポートコンソーシアムやキャリア移行期のアスリートに対して、情報提供等必要なサポートを行うアスリートキャリアコーディネーターの養成を進めており令和4年度終了時点で延べ約650名養成と目標数値の達成はしているものの、まだまだ足りていないと認識している。今後も認知度拡大に注力し養成に努めなければならない。						
事業概要(5行程度以内)	関係団体、関係企業等が一体となってアスリートのキャリア形成を支援する体制を整備し、その適切な運営を確保するためスポーツキャリアサポートコンソーシアムの事務局運営を実施する。その際、事務局運営に当たっては、様々な知識・経験を有する多様な立場の人材によって意思決定が行われるよう改善を図る。また、引退移行期のアスリートが企業等とのマッチングを円滑に行うことができるよう、アスリートのデュアルキャリア形成に必要な研修会等の開催、情報提供等を行う人材を育成する。						
事業概要URL	https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop05/list/1383249.htm						
実施方法	委託・請負						
補助率等	100%						
予算額・執行額(単位:百万円)(インプット)	予算の状況	当初予算(A)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
		補正予算(B)	-	-	-	-	-
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	-
		予備費等(E)	-	-	-	-	-
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	45.9	55.4	55.4	52	52
		執行額(G)	42	45	54.9	-	-
		執行率(%) =(G)/(F)	92%	81%	99%	-	-
		当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]	92%	81%	99%	-	-
		歳出予算項・目	令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
		(項)	スポーツ振興費	-			
(目)	スポーツ振興事業委託費	51	51				
	職員旅費	1	1				
	庁費	0	0				
	諸謝金	0	0				
	委員等旅費	0	0				
	その他	1	1				
	計(A)	52	52				

<b>活動内容①</b> (アクティビティ)	スポーツキャリアサポートコンソーシアムの認知度向上、競技団体の加入促進、加盟団体・企業の協力関係の構築を最重要課題とし、それらの課題解決に向けた施策・取組の検討を行う総会及び運営委員会を開催する。									
↓										
<b>活動目標及び活動実績①</b> (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
	総会(1回以上)及び運営委員会(3回以上)の開催	スポーツキャリアサポートコンソーシアム総会、運営委員会の実施回数	活動実績	回	11	6	10	-	-	
			当初見込み	回	4	4	10	12	-	
↓	総会、運営委員会の開催を増やすことにより加盟団体数増に結び付く取組施策の検討、事例発表及び共有する機会がより多くなるため。加盟数の増加はすなわちスポーツキャリアサポートの対象が広がることに直結する。加速度的に加盟団体数を増やし、キャリアサポート体制を強固なものとするため。									
<b>成果目標及び成果実績①-1</b> (短期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 5年度		
	スポーツキャリアサポートコンソーシアム加盟団体数を令和5年度終了までに100団体に増やす	スポーツキャリアサポートコンソーシアム加盟団体数	成果実績	団体	46	64	83	-		
			目標値	団体	40	60	80	100		
			達成度	%	115	106.7	103.8	-		
<b>成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績</b>	スポーツ庁委託事業 スポーツキャリアサポート支援事業報告書									
↓	成果目標①-2の設定理由(短期アウトカムからのつながり)									
<b>成果目標及び成果実績①-2</b> (中期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 8年度		
	SCSCカンファレンス実施回数を令和8年度までに2回に増やす	SCSCカンファレンス実施回数	成果実績	回数	-	-	1	-		
			目標値	回数	-	-	1	2		
			達成度	%	-	-	100	-		
<b>成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績</b>	スポーツ庁委託事業 スポーツキャリアサポート支援事業報告書									
↓	成果目標①-3の設定理由(長期アウトカムへのつながり)									
<b>成果目標及び成果実績①-3</b> (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 10年度		
	会員団体との個別のセカンドキャリアサポートプロジェクトを令和10年度までに50プロジェクト達成を目指す	会員団体との個別のセカンドキャリアサポートプロジェクト数	成果実績	団体	-	-	2	-		
			目標値	団体	-	-	2	50		
			達成度	%	-	-	100	-		
<b>成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績</b>	スポーツ庁委託事業 スポーツキャリアサポート支援事業報告書									
<b>アウトカム設定についての説明</b>	アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由									
	-									
	-									
	アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由									
	-									

活動内容② (アクティビティ)	競技引退後のアスリートがスムーズにキャリア移行を行えるよう、必要な情報提供等のサポートを行う人材であるアスリートキャリアコーディネーターの育成を行うとともに、効果的な活用のあり方について検討を行う。									
↓										
活動目標及び活動実績② (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
	スポーツキャリアに関する研修会(10回以上)の実施	スポーツキャリアに関する研修会の実施回数	活動実績	回	8	12	12	-	-	
			当初見込み	回	8	12	12	15	-	
↓	成果目標②-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	研修回数(枠)を増やすことにより、アスリートキャリアコーディネーターの育成数が増加する為。								
成果目標及び成果実績②-1 (短期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 6年度		
	アスリートキャリアコーディネーターの人数を令和6年度終了までに1000人に増加させる	アスリートキャリアコーディネーターの人数	成果実績	人	132	343	650	-		
			目標値	人	10	250	350	1,000		
達成度			%	1,320	137.2	185.7	-			
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	スポーツ庁委託事業 スポーツキャリアサポート支援事業報告書									
↓	成果目標②-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	既資格取得者に向けた学習機会が現在存在しないため、コンソーシアムが主導し研修会等を開催。アスリートキャリアコーディネーターの資格の充実を図る。								
成果目標及び成果実績②-2 (中期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 8年度		
	既に資格取得済みのアスリートキャリアコーディネーターに向けた継続学習機会の創出(年10回)	資格所得者に向けた継続学習機会の(研修会)開催数	成果実績	回	-	-	-	-		
			目標値	回	-	-	-	10		
達成度			%	-	-	-	-			
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	スポーツ庁委託事業 スポーツキャリアサポート支援事業報告書									
↓	成果目標②-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)	養成したアスリートキャリアコーディネーターを生かすためのマッチング事業を実施する。セカンドキャリアについて重要だと考えるチーム、大学、クラブなどが多い中、何をしたいかわからないというのが大半という現状である。そこでマッチングの仕組みをつくり(マッチングカウンセリング、相談窓口開設、アプリ開発等)、マッチングの実績づくりを推進する。マッチング実績を創出し、HP・SNS・カンファレンス等で広く発信。セカンドキャリアに真剣に取り組むチーム、大学、クラブなどが少しでも増加するように機運を醸成する。								
成果目標及び成果実績②-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 10年度		
	アスリートキャリアコーディネーターとチーム、大学等をマッチングさせる仕組みを創出しマッチング実績を創出(年100件)	マッチング成立件数	成果実績	件	-	-	-	-		
			目標値	件	-	-	-	100		
達成度			%	-	-	-	-			
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	スポーツ庁委託事業 スポーツキャリアサポート支援事業報告書									
アウトカム設定について の説明	アクティビティ②について定性的なアウトカムを設定している理由									
	アクティビティ②についてアウトカムが複数設定できない理由									

事業に関連するKPIが定められている閣議決定等	名称	-
	URL	-
	該当箇所	-
<b>事業所管部局による点検・改善</b>		
点検結果	<p>本事業は、スポーツ基本法に基づくスポーツ基本計画にその必要性が明記されており、政策の優先度が極めて高く、国民や社会のニーズを反映したものである。支出(委託)先の選定に当たっては、十分な公告期間を確保した上で公募(企画競争)を実施しており、その妥当性や競争性を確保している。コンソーシアム運営委託事業においてはスポーツキャリアサポートコンソーシアムの会員数、アスリートキャリアコーディネーターの数も着実に増加。調査事業においては研究調査結果公表とともに、アスリートのキャリア形成の事例集を公表でき、一定の成果をあげられた。</p>	目標年度における効果測定に関する評価(令和6年度実施)
改善の方向性	<p>引き続き事業の進捗状況について、事業者と緊密に連絡を取り合うことにより、事業の進捗および経費の執行状況を確認。軌道修正等今後も適宜実施していきたい。委託事業終了時には、委託先から提出のあった実績報告書の確認を行うほか、必要に応じて現地調査を行い、証拠書類(収支簿・領収書等)を確認し、委託費の適切な執行・管理がなされているか審査する。</p>	
<b>外部有識者の所見</b>		
外部有識者による点検対象外		
<b>行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見</b>		
事業内容の一部改善	この事業は、複数年に亘り実績が目標を上回っていることを踏まえ、事業の成果をよりの確に把握できるよう工夫すべきである。	
<b>所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況</b>		
年度内に改善を検討	「キャリアコーディネーターの目標人数」の目標値を高く再設定。さらに新たな中長期目標を設定し、事業の成果を的確に把握できるよう努める。	
過去に受けた指摘事項と対応状況	<b>公開プロセス・秋の年次公開検証(秋のレビュー)における取りまとめ</b>	
	-	
	<b>上記への対応状況</b>	
	-	
	<b>その他の指摘事項</b>	
	-	
<b>上記への対応状況</b>		
-		
<b>備考</b>		
-		

関連する過去のレビューシートの事業番号									
平成23年度	-								
平成24年度	-								
平成25年度	-								
平成26年度	-								
平成27年度	新27-0033								
平成28年度	309								
平成29年度	309								
平成30年度	305								
令和元年度	文部科学省	-		0299					
令和2年度	文部科学省			0302					
令和3年度	2021	文科		0325					
令和4年度	2022	文科	21	0328					



費目・用途 (「資金の流れ」において ブロックごとに最大の金 額が支出されている者 について記載する。費目と 用途の双方で実情が分 かるように記載)	A.			B.		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
雑役務費	カンファレンス運営業務委託費、指導者向け映像企画制作撮影費・会場費、SCSCキャリアセンターシステム開発費等	20.7	人件費	賃金	13.3	
人件費	賃金	12.4	旅費	交通費	2.5	
一般管理費	その他費用	2.2	諸謝金	有識者会議謝金、ヒアリング等謝金	0.3	
借損金	会場費	1.5	会議費	お茶等	0	
謝礼金	会場出席謝金、講師謝金	1.4	自己調達額	自己調達差引分	▲1.1	
旅費	交通費	0.2				
会議費	ミネラルウォーター、お茶等	0.1				
印刷製本費	教本等印刷製本	0.1				
通信運搬費	運送費	0.1				
消耗品費	消耗品	0				
計		38.7	計		15	
費目・用途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載						チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社フューチャー・デザイン・ラボ	2010401077840	関係団体・機関等の連携・協働を推進し、アスリートのスポーツキャリア全体を支援する体制を構築・運営し、基盤的な支援プログラムの整備、成果の公表・普及等を行う。	38.7	随意契約(企画競争)	4	25%	

B.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	EYストラテジー・アンド・コンサルティング株式会社	6010001107003	海外におけるスポーツ人材の数、雇用形態、需要状況の全体像や課題を把握するため、基礎的な調査研究を行う。	15	随意契約(企画競争)	6	16.7%	
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載								チェック